

名古屋国語教育研究会  
「夏の半日研究会」要項

研究主題

**未来を創ることばの力**  
—子どもたちが自走する国語教室の創造—

■日 時 令和5年8月10日（木） 13:15～16:25

■場 所 ウィンクあいち（11階 各会議室）

■日 程

〈分科会Ⅰ受付 13:00～〉※各会議室

分科会Ⅰ 13:15～14:35	① 中学校・読むこと部会	1101会議室
	② 話すこと・聞くこと部会	1102会議室
	③ 言語・書写部会	1103会議室

〈分科会Ⅱ受付 14:50～〉※各会議室

分科会Ⅱ 15:05～16:25	① 小学校・読むこと部会	1101会議室
	② 書くこと部会	1102会議室

■主 催 名古屋国語教育研究会

■後 援 名古屋市教育委員会 名古屋市立小中学校長会  
名古屋市教育会 愛知県教育振興会

## 子どもたちが自走する学びへの転換を目指して

名古屋国語教育研究会会長  
名古屋市立上社小学校長  
井本孝男

今年度も国語教育に熱心な先生方にご参会いただき、名古屋国語教育研究会主催の「夏の半日研究会」を開催することができますことを、大変うれしく思います。

小学校と中学校の先生方が一緒に学べる研究会は、全国的に見ても珍しいと言われる中、本研究会では、「国語教育実践者会議」の名で発足した時以来、このスタイルを大切にしています。「実践を第一義とし、教室に拘泥する」という実践者としての精神は、脈々と今に受け継がれています。

さて、今年度、名古屋国語教育研究会では、長きにわたり継続してきた研究主題「未来に生きることばの力」を「未来を創ることばの力」へと改めました。また、教師からの指示待ちではなく、自らがことばと向き合い、自らのことばの世界を創っていかうとする主体的なことばの学び手の育成を図っていく必要がある、という考えに立ち、「子どもたちが自走する国語教室の創造」をサブテーマとして掲げ、「教師がサポーターに回り、いかにして子どもたちが自己選択・自己決定して学習を進めていくことができるか」という自走する学びへの転換の視点に立ち、研究活動を進めています。

今年度の「夏の半日研究会」では、この考え方に基づいた各部会の実践について、参会者の皆様とともに語り合う機会としたいと考えています。未来を創ることばの力の育成をねらい、子どもたちが目を輝かせる学びの姿を求めて、熱い議論ができれば幸いです。

ここにお集まりの皆様にご敬意を表し、明日からの国語教室が一層充実したものとなるよう、ご尽力いただくことを切に願っています。



# 「未来を創ることばの力」

## ～ 子どもたちが自走する国語教室の創造 ～

### 1 メインテーマ「未来を創ることばの力」について

これまでの日本の教育は、「知識基盤社会」や「グローバル化社会」など、ある程度“予測可能な社会”を前提とし、そこで活躍できる人材の育成を目指してきた。しかし、今後、子どもたちが生きていくのは、“予測困難な社会”である。そのような社会の中で幸せに生きていくためには、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら社会を切り拓いていくことが求められる。そのためには、物事を正確に理解し、論理的に思考し、豊かに想像し、適切に表現することができる「ことばの力」が不可欠である。

このような考えに立ったとき、私たち国語教師は、「（予測可能な）未来に生きることばの力」から、「（予測困難な社会の中で自らが）未来を創ることばの力」へと、目指すべき目標を転換する時機を迎えたと考え、本テーマを設定した。

### 2 サブテーマ「子どもたちが自走する国語教室の創造」について

#### (1) 子どもたちが自走する学びへの転換

本テーマに迫るために、私たち国語教師は、教師の指示待ちではなく、自らがことばと向き合い、自らのことばの世界を創っていかうとする主体的なことばの学び手の育成を図っていく必要がある。

この主体的なことばの学び手を育成するためには、現行学習指導要領における、「主体的に学習に取り組む態度」の評価の指標として示されている「粘り強さ」と「自己調整力」を十分に発揮できるよう、自己選択・自己決定する学び、すなわち子どもたちが自走する学びへ転換していく必要がある。

#### (2) これからの国語教室を創造する上で必要な視点

名国研では子どもたちを中心に据えた学習を大切にし、価値の高い様々な授業実践が積み上げられてきている。これまでは、教師が子どもたちの興味・関心が引き出されるような教材や学習活動を工夫し、その教材や活動の魅力にひかれて、子どもたちが主体的に学習を進め、学習集団の中で互いの考えを練り上げていくというような実践が重視されてきた。これらは、決して否定されるものではなく、名国研の財産として大切にしていきたいものである。

しかし、これからの国語教室を創造する上では、これまでの財産を学習環境として提供しながらも、「教師がサポーターに回り、いかにして子どもたちが自己選択・自己決定して学習を進めていくことができるか」といった、自走する学びへの転換の視点に立った実践研究が必要であると考え、「子どもたちが自走する国語教室の創造」をサブテーマとして設定した。

### 3 一人1台タブレットの活用について

一人1台タブレットについては、自走する学びという学び観に立ち、子どもたちが必要と感じたときに、自分のペースで活用できるよう、子どもたちにとっての有効な学習ツールとして捉えたい。子どもたちの積極的な活用を促すような工夫が望まれる。

## 分科会番号 I ① 中学校・読むこと部会

### 1 使用教材（単元）

「少年の日の思い出」（1年）、「言葉がつなぐ世界遺産」（1年）他

### 2 内容

「自ら課題をもって文章を読み解き、成果を共有することを通して、文章をより深く理解することのできる生徒の育成」をテーマに、「生徒が主体的に取り組める課題の設定」、「対話で読み深める授業の構想」の2つの実践を提案します。

### 3 分科会の流れ

	司会：前津中学校 前田 豊 先生
13：15	○ あいさつ・全体の流れの説明 前津中学校 前田 豊 先生
13：18	○ 「生徒が主体的に取り組める課題の設定」について (20分)
	○ 「対話で読み深める授業の構想」について (20分)
13：58	* 座席移動・説明
14：00	○ グループに分かれての協議 (20分)
14：20	○ グループに分かれて協議した結果の共有 (10分)
14：30	○ まとめ 守山西中学校長 西脇 治郎 先生
14：35	○ アンケート記入、終了

### 4 今後の部会の予定等

日 時：9月22日（金）18時30分～

会 場：矢田中学校 or イーブルなごや

連絡先：東区 矢田中学校 西 弘満 (Tel722-5281 IP71-2234)

## 分科会番号 I ② 話すこと・聞くこと部会

### 1 使用教材（単元）

単元『町じまん』をすいせんしよう（小5年）

### 2 提案

自分が身に付けていることばの力を自己分析し、学習の進め方を自己選択、自己決定し、課題解決を通して、伸ばしたいことばの力を獲得していくことができる授業について提案します。

### 3 分科会の流れ

	司会：平田小 住田 美佳 先生
13:15	○ あいさつ・全体の流れの説明（5分）
13:20	○ <b>授業提案</b> （40分） 提案 丸の内小 池田 悠 先生 前山小 矢野 哲史 先生 ★ 自己選択、自己決定して学びを進める言語活動の在り方とは。
	○ 休憩
14:00	○ 小グループに分かれての話合い（10分）
14:10	○ 意見の発表・交流（10分）
14:20	○ 感想・振り返り（5分）
14:25	○ まとめ（5分） 植田小学校長 野々川 康弘 先生
14:30	○ アンケート記入
14:35	○ 終了

### 4 今後の部会の予定等

日時：9月15日（金）18時30分

会場：植田小学校

連絡先：西区 平田小 住田 美佳（Tel 502-2017 IP 71-2414）

## 分科会番号 I ③ 言語・書写部会

### 1 使用教材（単元）

- 「イメージを言葉にする」（中1年） 言語  
 「行書で書いてみよう」（中1年） 書写

### 2 提案

言語分野では自分の感情を場面に応じて的確に表現するための語彙指導について、書写分野ではICTを活用して対話を可視化しながら進める行書指導について提案します。

### 3 分科会の流れ

	司会：榎小 岡島 靖浩 先生
1 3 : 2 5	○ あいさつ・全体の流れ（5分）
1 3 : 3 0	○ <b>感情表現の語彙を増やし、自分の感情や場面に応じて使用することができる生徒の育成</b> 提案：本城中 梶野 和希 先生 ★ 普段使用している言葉の意味を捉え直したり言い換えたりして、感情を的確に表現する実践の紹介
1 3 : 4 0	○ <b>行書の特徴をとらえ、自ら目標を立てて書写学習を行う生徒の育成</b> 提案：神の倉中 倉地 恵一郎 先生 ★ 学習の流れをICT機器上で可視化することで、効果的に行書の特徴を捉えることができる実践の紹介
1 3 : 5 0	○ 休憩
1 4 : 0 0	○ <b>言葉遊びによるアイスブレイク</b>
1 4 : 0 5	○ <b>授業実践のアイデア共有</b> ★ グループに分かれ、部員を中心とした授業実践のアイデアの共有や情報交換を行う。
1 4 : 2 0	○ 感想・意見の交流
1 4 : 2 5	○ まとめ 自由ヶ丘小学校長 市野 篤史 先生 呼続小学校長 服部 左夕里 先生
1 4 : 3 5	○ アンケートの記入・終了

### 4 今後の部会の予定等

- 日 時：10月下旬  
 会 場：新郊中学校 特活室  
 連絡先：新郊中学校 古安 良啓（TEL821 - 8661 IP71 - 3232）  
 港北中学校 戸田 真（TEL381 - 0121 IP71 - 3132）

## 分科会番号Ⅱ① 小学校・読むこと部会

### 1 使用教材

「くらしと絵文字」(小3年)

### 2 提案

説明文の「読みの観点表」を活用した「くらしと絵文字」(小3年)の授業を例に、子どもたちが自走し、仲間と協働しながら自ら学び進める説明文の授業とは何かについて提案します。

### 3 分科会の流れ

	司会：高蔵小 土田 虎生輝 先生
15:05	○ <b>部会の研究概要</b> (10分) 提案 児玉小 山田 博史 先生 引山小 澤野 佑輔 先生
15:15	○ <b>授業提案</b> (45分) 提案 春田小 西脇 陽介 先生 大須小 川出 祐樹 先生 汐路小 舘 純子 先生
16:00	○ 感想・意見の交流 (10分)
16:10	○ まとめ 日吉小学校長 笠原 誠康 先生 浦里小学校長 原田 直美 先生
16:20	○ アンケート記入
16:25	○ 終了

### 4 今後の部会の予定等

日 時：9月28日(木) 18:30～

会 場 イーブルなごや

連絡先：緑区 南陵小学校 早川 貴之 (TEL 632-6381 IP 71-3420)

## 分科会番号Ⅱ② 書くこと部会

### 1 使用教材（単元）

「取材して知らせよう」（小3年）

『ショートショート』を書こう」（小4年）

「物語を作ろう」（小6年）

### 2 提案

「自由進度学習」を取り入れた書くことの学習において、課題となることを整理しつつ、小3年・小4年・小6年の単元の中で自己調整のできている姿と、そこに迫るための方法について具体的に考えて、提案します。

### 3 分科会の流れ

	司会：御田中 山口 貴史 先生
15:05	○ あいさつ・全体の流れの説明
15:08	○ <b>報告：「自由進度学習」を取り入れた書くことの課題</b> （7分） 報告 大宝小 舟橋 宏紀 先生
15:15	○ <b>提案Ⅰ：小3年の単元で考える</b> （15分） 提案 千年小 佐藤 和輝 先生
15:30	○ <b>提案Ⅱ：小4年の単元で考える</b> （15分） 提案 西前田小 千葉 泰弘 先生 (休憩)
15:50	○ <b>提案Ⅲ：小6年の単元で考える</b> （15分） 提案 辻小 近藤 雄介 先生
16:05	○ 感想・意見の交流 記録：稲永小 都築 潤矢 先生
16:15	○ まとめ 東築地小学校長 秋田 義仁 先生
16:23	○ アンケート記入
16:25	○ 終了

### 4 今後の部会の予定等

日 時：9月14日（木）18：30～

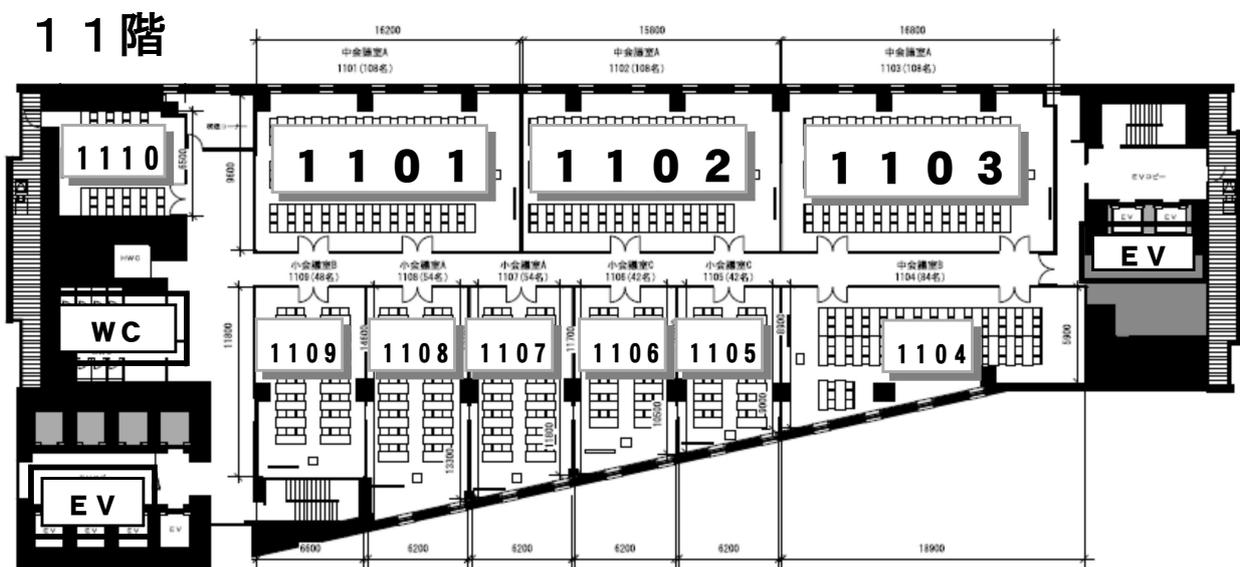
会 場：イーブルなごや

連絡先：東区 旭丘小学校 千崎晶美 (Tel 721-0396 IP 71-2105)

# 【会場】ウインクあいち

分科会 I・II 各会議室にて

	受付	分科会	会場 (11階 各会議室)		
			1101	1102	1103
分科会 I	13:00~	13:15~14:35	① 中・読む	② 話す・聞く	③ 言語・書写
分科会 II	14:50~	15:05~16:25	① 小・読む	② 書く	



## ウインクあいち アクセス

〒450-0002

名古屋市中村区

名駅4丁目4-38

- ・JR桜通口から：徒歩5分
- ・ユニモール地下街5番出口から  
：徒歩2分
- ・名駅地下街サンロードから  
：徒歩8分

